



特定非営利活動法人 北関東医療相談会ニュースレター

群馬県太田市東別所町 427-44

電話番号 080-5544-7577 / Fax0276-46-4462

<https://npo-amigos.org/>

当団体は、カリタスジャパン、日本カトリック難民移住異動者委員会、赤い羽根、サレジアンシスターズの皆様の協力を得て運営されています。



第70回医療相談会の報告

日時：2025年6月8日（日） 午前10時～午後2時

会場：群馬県太田公民館東別館

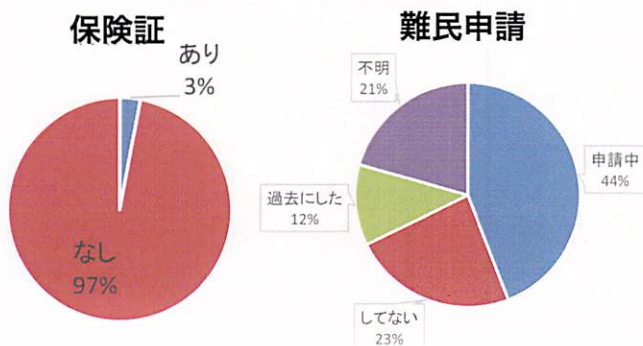
住所：〒373-0026 太田市東本町 53-20(最寄り駅 東武線 太田駅)

○基本情報				○地理的分析				○社会福祉的分析	
開催地	参加者数	受診者数	男性：女性	開催県内居住率	開催地を除く最多居住地	最多国籍	最多地域	保険証不所持率	仮放免者率
群馬県太田市 太田公民館東別館	34	34	58%：42%	27%	埼玉県	パキスタン	アジア	97%	67%



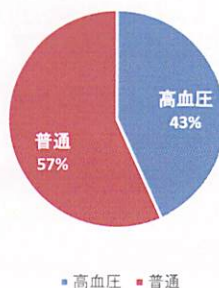
1997 年群馬県において、「外国人のための医療相談会」として発足した、本相談会も今回で 70 回を迎えました。今回も、医療従事者のかた、一般ボランティアの方総勢 100 人近いかたに駆け付けていただき、無事実施できました。保険証がなく医療にかかることが困難な 34 人の方が集まり、健康診断を受診しました。また、本ニュースレター別紙にて、いままでの困難事例の一部をまとめました。

○社会福祉的分析

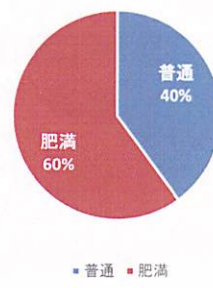


○検査結果より

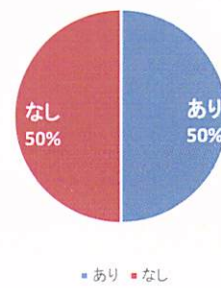
高血圧率



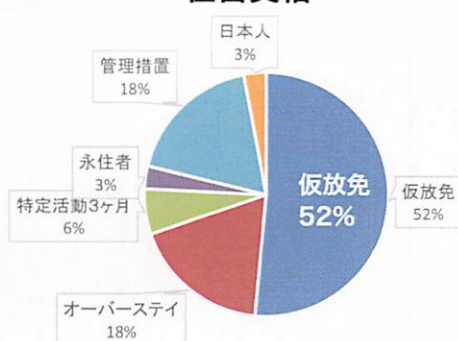
BMI肥満率



虫歯保有率



在留資格



病院への紹介状
が出た人数 12名

市販薬販売の
お願いの人数 2名

紹介状12名

高血圧・マンモグラフィー精検	オーバースティ者：受診は保証人に依頼
肺レントゲン 精査	病院検討中
肺レントゲン 精査	病院検討中
高LDH	オーバースティ者：受診は保証人に依頼
高LDH	オーバースティ者：受診は保証人に依頼
膝関節症・外傷による痛み 2名	病院依頼済
膝関節症	電話連絡するも通話不通
頻尿	受診完了継続治療
栄養失調・貧血・高血圧・両下肢 蜂窩織炎・(VB ¹ 不足)にて末梢神経 障害で救急搬送され入院	
糖尿病・	電話連絡するも通話不通
貧血Hb7.6	病院依頼済
視力低下	受診予定であったが本人拒否借金しているため
市販薬販売のお願い2名	指示の通り薬局にて購入し 郵送した

困難事例紹介①

- ①セーフティネットが断たれた。②携帯電話がない ③コミュニティを持たない
④本人からのSOSがない。⑤日本語が読めない書けない

群馬県伊勢崎市 ブラジル国籍（父日本人、母ブラジル人）Tさん 70 歳 男性。1993 年短期滞在で来日。食糧支援の依頼があり、当会で支援。在留資格が切れた状態。一年前に日赤病院にて肺炎で入院。その後、当会（AMIGOS）に託されたが、行政と掛け合ってもどうにもならず、電気・水道も止められて、寄付の食料と、水は一日 2 リットルを近くのフィリピン人から与えてもらうだけで、日々をしのいできた。今回の太田市での医療相談会に来所。しかし、蜂窩織炎状態（写真参照）であり、また全身状態も極めて悪く、生活状況もあり栄養失調、貧血もおこし緊急で病院に搬送された。7/9 退院。その後、姪さんと連絡がとれ、ブラジルに帰国予定。



栄養不良で痛みが感じられない状態



両下肢に蜂窩織炎



困難事例紹介②

**34年のオーバーステイ。莫大な治療費の未払い。
平成24年1月5日から19日までの入院費、残金1,536,290円**

栃木県在住 ペルー人 65 歳 男性。1991 年来日。34 年間オーバーステイ。
医療相談会に来て眼科受診の紹介状をもらう。近医を探すも受け入れ良くないため、足利日赤へ問い合わせる。
保険証がない、お金がない受診の受け入れを確認し受診の運びとなったが、本人に伝えると中々いい返事が来ない。天気が雨模様、交通の便が悪い。足が不自由な様子もうかがえる、そのため近在の当会 AMIGOS のスタッフが自宅まで迎えに行く段取りになった。しかし本人曰く、日赤にはかかりたくないとのこと。

領 収 書 No 01548

平成 24 年 1 月 19 日

領収金額 ￥1,400,000

患者氏名 様

足利赤十字病院
院長 小松 本 悟

〒326-0843 足利市五十郡町284-1
TEL 0284-21-0121

領収印

平成 24 年 1 月 19 日

3-380 24. 3. 2 × 50 × 40

← 写メで送られてきた領収書
平成 24 年 1 月 5 日から 19 日までの入院費、残金 1,536,290 円。
12 年前の整形足の骨折手術の治療費を返済していない。
その事があり日赤受診を拒んでいた。
由々しき事態であり、
現在もなおオーバーステイ状態が続く。

＜今後の予定＞

1、第 71 医療相談会

日時：2025 年 11 月 8 日（日）

会場：栃木県 済生会宇都宮病院

2、第 72 回医療相談会

日時：2026 年 1 月

会場：茨城県笠間市

イエズス・マリアの聖心会修道院

毎月**第一金曜日**は、食糧支援の日です。

ボランティアスタッフの助けをお借りして

食料・ミルク・オムツ・生理用品などを生活困窮者の方々に送っています。

現在、運営費が不足しております。皆さまぜひご支援ください！

＜寄付金の決済がしやすくなりました＞

右記の QR コードから寄付金の納入が可能になりました。

読み込んでいただきますと、専用ページに入ることができます。

会費納入の際は、その旨を明記していただきますようお願いいたします。

<http://congrant.com/project/npoamigos/3162>



Catholic Commission of Japan for Migrants, Refugees and People on the Move
日本カトリック難民移住移動者委員会



Caritas Japan.
カリタスジャパン

サレジオンシスターズ



編集後記



健康は、「生き抜く力」と言われています。

この誰でも子供の時から持っている健康、外国人とりわけ仮放免者は、在留資格によって健康を左右されているのではないかと考えられます。

在留資格が無いことは、自動的に「健康に暮らせない」こととなり、日本人であれば生活保護の対象となります。外国人は、在留資格が無いと家は借りることが出来ず、公的には電気・水道・ガスの支給はなく、暗闇で底辺に生きることになるのです。

“在留資格の無い外国人”は、入管の政策としての「健康に暮らせない」施策を生み、おのずと「基本的人権」が取りあげられ「人間の尊厳」をないがしろにされ、非人道的政策の施行の餌食となっているのです。

このような施策では、およそ医療の必要性を理由に在留特別許可を申請しても、許可されるケースはまれで、許可される場合でも、ほとんどが死亡直前であるのでは、と思われます。

『再度、以下の制度を見直してください。』

私たちは、医療を必要とする被仮放免者が、仮放免期間中に医療が受けられるよう、健康保険に加入できる制度をつくって出してください。

家族がいて働く妻がいる仮放免者の家族にとって、「協会けんぽ」は重要な保険ですので再度見直してください。未払補填事業の整備拡充を図ってください。

医療機関が、健康保険のない移民・難民の医療費を高額に設定することをやめさせてください。無保険であっても生活困窮者であれば、一点 10 円で計算された医療費で治療を受けられるようにしてください。（長澤拝）

医療相談会を受診したあと、亡くなったかたなどの困難事例の一部抜粋

	在留資格	国籍	年月日	地域	症例	経緯	結果	在留特別許可等の申請	健康保険
1	仮放免者	バングラデッシュ	2013年	伊勢崎市	腸閉塞	就寝中にガスが口から出て喉に詰まらせる	死亡	無し	無し
2	仮放免者	パキスタン	2013年	太田市	肝臓がん	2013年健康診断太田会場でC型肝炎⇒肝がん	死亡	無し	無し
3	仮放免者	ベトナム	2014年	太田市	ヘロイン中毒	ヘロイン中毒の解毒	死亡	無し	無し
4	非正規滞在者	ブラジル	2017年	太田市	肝臓の免疫不全	国立高崎に行くが診療拒否	死亡	無し	無し
5	非正規滞在者	フィリピン	2017年	渋川市	同上	すでに入院していた	死亡	無し	無し
6	仮放免者	ベトナム	2017年	太田市	肝臓がん	B型・C型肝炎から肝がん	手術して生き残る	あり	協会健保
7	仮放免者	中国人	2017年	東京都	角膜潰瘍	角膜手術	手術しない	あり	協会健保
8	仮放免者	カメルーン	2017年	栃木県	妊娠	産前産後	生存	無し	無し
9	仮放免者	フィリピン	2017年	鴻巣市	黄斑浮腫	手術して快復	手術	あり	協会健保
10	仮放免者	バングラデッシュ	2018年	東京都	卵巣がん	卵巣がん支援	手術し生き残る	あり	あり
11	仮放免者	フィリピン	2018年	三郷市	肺癌	末期の肺癌	死亡	あり	あり
12	仮放免者	ペルー	2020年	大泉町	大腸がん	宇都宮の病院にて大腸がん手術	手術して生き残る	あり	あり
13	仮放免者	パキスタン	2020年	埼玉県	潰瘍性大腸炎	難民として逃げていた。	難病として一度は特定活動	監理処置	健康保険
14	仮放免者	カメルーン	2021年	神奈川県	乳がん	乳がん手術	死亡	在留特別許可	健康保険
15	仮放免者	イラン人	2023年	東京都	頻発性不整脈	心臓カテーテルアブレーション	手術	特定滞在	健康保険
16	仮放免者	カメルーン	2023年	埼玉県	帝王切開 難病	難民として逃げていた。	母子生存	特定滞在	健康保険
17	仮放免者	カメルーン	2023年	千葉県	腎臓病透析	難民として逃げていた。	生存	申請のみ	無し
18	仮放免者	ナイジェリア	2023年	神奈川県	S字結腸癌	2010年4月から仮放免生活	死亡	申請のみ	
19	非正規滞在者	フィリピン	2025年	茨城県	乳がん	偽造パスポート、オーバースティ	生存	特定滞在	健康保険
20	非正規滞在者	ブラジル	2025年	群馬県	肺炎	年齢により働けない	生存	無し	無し



1、バングラデッシュ人 Hさん 仮放免者 腸閉塞と窒息（2013年9月死亡）

2013年3月高崎医療相談会から受診、すでに15年を超える滞在者、もともと喘息持ちであった。

8月初旬に太田駅頭で倒れ、救急搬送される。安中市の無料定額診療の病院にて治療し1ヶ月後、退院し数日のうちに腸閉塞により睡眠中に口からガス突沸となり汚物が喉に詰まり死亡。



2、パキスタン人 仮放免者 肝臓 無保険 分割対応

初期相談 平成25年太田会場で健康診断を受け以降、C型肝炎と診断。済生会前橋病院にて検査確認し、肝機能を強化する治療を太田協立診療所に依頼して経過観察したが平成26年12月、肝臓に移行した。県内では肝臓の手術は困難であったが県立がんセンターに当会ボランティア医師を仲介依頼し検査開始、平成27年3月30日肝臓と診断される。その後、費用を生活に見合った分割支払いを条件に手術を計画したが肝臓の進行が速く手術は不可能となり平成27年5月1日に帰国、7月に死亡。



3、ベトナム人 仮放免者 肝臓 無保険 無料定額診療にて対応 ヘロイン中毒

初期相談 平成26年6月。第29回医療相談会（太田会場）にて健康診断を受け、ヘロイン中毒による弊害を訴え、以降済生会巣鴨病院にて検査、ヘロインを使用、平成27年3月27日本人が再度やめたいとの訴えにて、再度、済生会巣鴨病院にて30日の解毒入院治療を実施した。2016年5月電車自殺。



4、ブラジル人 非正規滞在者 肝臓の免疫不全

2017年11月末～12月23日 高崎中央病院

日系ブラジル人と結婚、来日、以降離婚して日系人の夫は先にブラジルに帰国、本人はブラジルには父親が入院、母親は既に他界し身寄りがなく、父親の入院費を稼ぐために非正規滞在者となり働き続ける。2017年9月頃から肝臓を病んでいたが保険がなく放置され、当会がアパートに訪ねたときは褥瘡(じょくそう)、羸瘦(るいそう)も進み虫の息で、当時の国立高崎病院に連携するも受け入れ拒否となった。「病院はホテルではない」と追い返される。高崎中央病院が受け入れ、その後死亡。葬式は当会で出し、入院費は群馬県と高崎市で賄った。



5、フィリピン人 非正規滞在者 肝臓の免疫不全

2017年12月、群馬県渋川市、肝臓の免疫不全により死亡。入院先の病院から相談ということで個別に対応した。入院時には既に処置のしようのない状態であった。後で調べると入国時に偽ビザで来ていたので親族もわからない状況であった。葬儀は当会とカトリック渋川教会でおこなった。

葬儀の時点で、亡くなる前の家族が現れた。その家族は亡くなった病院から数百mのところに住んでいた。夫、子供2人がいた。親族も埼玉県内から駆け付けた。最終的にはフィリピン領事館と連動したことで親族が判明した。費用は、病院と新しい夫にて対応。



11、フィリピン人 仮放免者 乳癌

2020年6月2日、長崎県大村収容所から収容をとかれ埼玉県吉川市の自宅に帰宅した。自宅に戻った時には肺癌を患っていたと思われるが決定的な確定診断が出来ずにいた。よって東埼玉病院にて肺癌の確定診断を依頼して在留特別許可を申請した。ほどなく審査結果として健康保険を取得したが、2021年に肺癌のために死亡。



14、カメルーン人 仮放免者 乳癌

神奈川県に在住のカメルーン人女性リリンデス・マイさんは仮放免者。2018年に乳癌と診断され、2020年10月末期の乳がん患者となった。

家賃が払えずホームレスとなり、当会に支援要請され11月礼拝会の施設で収容された。その後聖ヨゼフ会桜町病院で末期を迎える。2020年11月末に在特を申請し数度交渉し、21年1月7日にようやく出すという連絡があり1月21日弁護士に在特がおりた連絡があった。

しかし本人に在留カードが届いたのは2021年1月23日午前10時。亡くなったのは午前6時25分、死亡後3時間経過した後だった。

在留資格の無い外国人は、健康保険がなく高額な医療費が直接かかる、生命に危険がある状態と診断されながら医療機関での受け入れを断られる、わが国には、このような悲惨な状況に置かれている移民・難民(外国人)がたくさん存在するのです。